

# 第52回全日本シニアボウリング選手権大会

## 開催要項

主催：公益財団法人全日本ボウリング協会

後援：愛知県、公益財団法人愛知県スポーツ協会、稲沢市、稲沢市教育委員会  
稲沢市体育協会、稲沢市ボウリング協会

協力：公益財団法人ミズノスポーツ振興財団

主管運営：愛知県ボウリング連盟

開催月日：2019年6月21日（金）～23日（日）（3日間）

会場：稲沢グランドボウル 公競No.122-64号 BW116レーン  
〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町80-1 TEL 0587-21-2131

競技種目：〔シニア部門・ハイシニア部門〕

男子・女子別 個人戦・2人チーム戦・選手権者決定戦

〔マスターズシニア部門〕

男子・女子別 個人戦

年齢区分：シニア部門 2019年4月1日現在、満50歳～満64歳までの者  
ハイシニア部門 2019年4月1日現在、満65歳～満74歳までの者  
マスターズシニア部門 2019年4月1日現在、満75歳以上の者

競技方式：デュアルレーン方式（アメリカ方式）で実施する。

競技方法：1）男女シニア・ハイシニア部門は、個人戦・2人チーム戦ともに、それぞれ6ゲームの競技を行い（3ゲーム毎にレーン移動）、その合計得点により各種目の順位を決定する。

2）選手権者決定戦は、個人戦、2人チーム戦の2種目（12ゲーム）の個人総得点の上位より男子シニア36名、男子ハイシニア20名、女子シニア18名、女子ハイシニア14名（参加人数により変更する必要がある）を決勝出場者とする。

決勝は更に3ゲームの競技を行い、合計15ゲームの総得点により、各部門の選手権者並びに順位を決定する。

3）男女マスターズシニア部門は、予選9ゲームの競技を行い（3ゲーム毎にレーン移動）、その合計得点の上位より、男子12名、女子8名（参加人数により変更する必要がある）を決勝出場者とする。

決勝は更に3ゲームの競技を行い、合計12ゲームの総得点により男子・女子選手権者並びに順位を決定する。

ハンディキャップ：1ゲームにつき、下記のハンディキャップを与える。

部 門	年 齢	H/C	年 齢	H/C
男・女シニア	50～59 歳	0 点	60～64 歳	5 点
男・女ハイシニア	65～69 歳	0 点	70～74 歳	5 点
男・女マスターズシニア	75～79 歳	0 点		
	80 歳以上	5 歳につき 5 点を加算する		

年齢基準は、2019年4月1日現在の満年齢とする。

競技規程：JBC選手権競技会規程並びにJBCボウリング競技規則を適用する。

同位の裁定：各種目において同位が生じた場合、第133条に基づき裁定する。

ただし、選手権者決定戦及びマスターズ部門決勝において1位と2位が同点の場合は9・10フレームの決定戦により順位を決定する。

参加資格：2019年度のJBC登録会員（個人正会員、実業団会員）で、各連盟に所属する満50歳以上（2019年4月1日現在）で、各連盟から選出された代表選手であること。（ただし、個人普通会員は、個人正会員に登録変更すれば参加できる。）

※シニアまたはハイシニア部門に1名不足が生じた場合、高年齢部門（ハイシニアまたはマスターズシニア）の選手が若年齢部門で参加することを特例として認める。ただし、その特例は各連盟1チームのみとし、その場合の選手のハンディキャップは5点とする。

参加割当：各部門は、JBC競技委員会にて別紙のとおり割り当てる。

男女マスターズシニア部門はフリーエントリーとする。

費用：施設使用料 1) 男女シニア、男女ハイシニアの各部門 1名 14,500円  
2) 男女マスターズシニア部門 1名 12,800円

褒賞：1) 個人戦（6部門） 優勝～第6位  
2) 2人チーム戦（4部門） 優勝～第6位  
3) 選手権者決定戦（4部門） 優勝～第6位  
4) 加盟団体表彰 各部門優勝者が所属する加盟団体  
5) 選手権者決定戦出場賞 選手権者決定戦出場者及びマスターズシニア決勝出場者全員  
6) 個人ハイゲーム賞、個人ハイシリーズ賞（各部門 男・女別 スクラッチ）  
注）ただし、選手権者決定戦並びに決勝戦は対象としない。  
7) 最高年齢者特別表彰 男・女 各1名  
8) 参加賞 参加者全員に贈る。

申込締切：2019年5月20日（月）期限厳守のこと

申込方法：別紙所定の申込用紙に必要事項を記入し、各連盟が取りまとめて施設使用料を添え期日までに下記へ申し込むこと。

愛知県ボウリング連盟 〒453-0044 名古屋市中村区鳥居通4-21

TEL052(433)9910 FAX052(433)9911

送金先：別紙、案内を参照のこと。送金締切日は2019年5月24日（金）厳守。

☆ 注意事項 ☆

- 1) 納入された施設使用料は、送金締切日以降、返金しない。  
また、自然災害等により大会を中止した場合、旅費、宿泊費の補償はしない。
- 2) 参加選手は各自の責任で健康診断を受け、健康であることを証明された者が参加すること。  
また、「スポーツ安全保険」等に参加し、健康保険証を必ず持参すること。
- 3) 公認ゲーム消化証明は、各連盟の責任において確認すること。
- 4) 大会使用ボールの登録は、会場に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。  
また、ボールの追加登録は原則として認めない。  
登録には、2個目から1個500円の登録料を納入するものとする。  
5個目からは特別保管料として、1個につき1,000円を追加徴収する。
- 5) 競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。  
シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。  
登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
- 6) 未検査ボール、ボール検査合格証不携帯の場合は競技開始前に検査を受けること。  
この場合の検査料は1個500円（硬度検査のみ200円）とし、大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。
- 7) 競技フロアへのボールの持ち込みは4個以内とします。
- 8) 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。  
申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること
- 9) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。
- 10) ボールバックを宅配便等で送る場合はどこの運送会社を使用しても構わないが到着が6月20日以降の指定で発送すること。  
センターからの発送については着払いのみとなる。